

教育施設情報

施設名：山梨大学医学部附属病院

施設基本情報 ※施設情報について、各施設への直接のお問合せはお控えください。

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

URL：<https://www.hosp.yamanashi.ac.jp/>

診療科長/指導責任者

コース	診療科長	指導責任者
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	市川 大輔	河口 賀彦
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	市川 大輔	河口 賀彦
高難度脾・肝切除術コース	市川 大輔	雨宮 秀武
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	市川 大輔	雨宮 秀武
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	市川 大輔	古屋 信二

対応するプラン（コース/プログラム）

- 胸腔鏡下/ロボット支援食道切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援胃切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 高難度脾・肝切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型
- 腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術：超短期間型、短期間型、中期間型、長期間型

各コースごとの年間手術件数

胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	25	件
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	50	件
高難度脾・肝切除術コース	50	件
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	25	件
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	100	件

対応するプランごとの応募要件

コース	プログラム	応募要件
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。ロボット手術の研修目標の場合、既に執刀医としての研修済みである。
	短期	
	中期	
	長期	

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡/ロボット	超短期	外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。ロボット手術の研修目

支援胃切除術コース	短期	標の場合、既に執刀医としての研修済みである。
	中期	
	長期	

コース	プログラム	応募要件
高難度膵・肝切除術コース	超短期	外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。
	短期	
	中期	
	長期	

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	超短期	外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。ロボット手術の研修目標の場合、既に執刀医としての研修済みである。
	短期	
	中期	
	長期	

コース	プログラム	応募要件
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	超短期	外科専門医、消化器外科専門医を取得済みである。ロボット手術の研修目標の場合、既に執刀医としての研修済みである。
	短期	
	中期	
	長期	

対応するプランごとの到達目標

コース	プログラム	到達目標
胸腔鏡/ロボット支援食道切除術コース	超短期	手術計画を理解する。(目標経験症例数：～2例)
	短期	手術計画を理解する。指導医のもと、助手を遂行できる。(目標経験症例数：2例)
	中期	周術期管理を理解する。指導医のもと手術計画を立案する。助手の役割を理解し、遂行できる。(目標経験症例数：10例)
	長期	指導医のもと、周術期管理を実践する。手術計画を立案し、指導医のもと術者として手術を遂行できる。(目標執刀症例数：1例)

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡/ロボット支援胃切除術コース	超短期	手術計画を理解する。助手の役割を理解する。(目標経験症例数：～2例)
	短期	助手の役割を理解し、指導医のもと、助手を遂行できる。(目標経験症例数：5例)
	中期	指導医のもと、周術期管理を実践する。指導医のもと、手術計画を立案する。助手の役割を完遂できる。(目標経験症例数：20例)

	長期	周術期管理を実践し、習熟する。手術計画を立案する。指導医のもと、術者として手術が完遂できる。（目標執刀症例数：3例）
--	----	--

コース	プログラム	到達目標
高難度膵・肝切除術コース	超短期	手術計画を理解する。（目標経験症例数：～2例）
	短期	手術計画を理解する。指導医のもと、助手を遂行できる。（目標経験症例数：5例）
	中期	周術期管理を理解する。指導医のもと手術計画を立案する。助手の役割を理解し、遂行できる。（目標経験症例数：20例）
	長期	指導医のもと、周術期管理を実践する。手術計画を立案し、指導医のもと術者として手術を遂行できる。（目標執刀症例数：2例）

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡下/ロボット支援肝切除術コース	超短期	手術計画を理解する。（目標経験症例数：～2例）
	短期	手術計画を理解する。指導医のもと、助手を遂行できる。（目標経験症例数：3例）
	中期	術期管理を理解する。指導医のもと手術計画を立案する。助手の役割を理解し、遂行できる。（目標経験症例数：10例）
	長期	指導医のもと、周術期管理を実践する。手術計画を立案し、指導医のもと術者として手術を完遂できる。（目標執刀症例数：2例）

コース	プログラム	到達目標
腹腔鏡下/ロボット支援結腸・直腸手術コース	超短期	手術計画を理解する。助手の役割を理解する。（目標経験症例数：～4例）
	短期	助手の役割を理解し、指導医のもと、助手を遂行できる。（目標経験症例数：8例）
	中期	指導医のもと、周術期管理を実践する。指導医のもと、手術計画を立案する。助手の役割を完遂できる。（目標経験症例数：30例）
	長期	周術期管理を実践し、習熟する。手術計画を立案する。指導医のもと、術者として手術が完遂できる。（目標執刀症例数：5例）

給与（中間型プログラムおよび、長期間型プログラム）

- 中間型プログラム、長期間型プログラムともに給与の支給：あり

福利厚生

- 住宅手当/社宅：なし
- 院内保育園/提携保育園：なし

施設の特徴：

- ✓ 手術に多く参加することができる。
- ✓ 手術の執刀の機会を多く提供できる。

- ✓ ロボット支援手術を積極的に取り入れている。
- ✓ 手厚い指導が受けられる。
- ✓ 力量や修練期間に合わせて修練目標・プランの考慮が可能。
- ✓ 研究・学術活動の機会がある。

施設からの一言： ロボット手術のすべての領域のプロクターが在籍しています。ロボット手術の習得を目標にしている先生の応募をお待ちしています。